

寄贈図書リスト

- ① スティーブン・ホーキング ブラックホールの謎に挑んだ科学者の物語, キャスリーン・クラル, A4変形, 40ページ, 1,800円+税, 化学同人

- ② プレゼンテーションzen 第3版, ガー・レイノルズ, B5変形, 349ページ, 2,600円+税, 丸善出版

月報だより

月報だよりの原稿は毎月20日締切, 翌月に発行の「天文月報」に掲載いたします。校正をお願いしておりますので, 締切日よりなるべく早めにお申込みください。

e-mailで toukou@geppou.asj.or.jp 宛にお送りください。折り返し, 受領の連絡をいたします。

人事公募

京都大学大学院理学研究科 准教授

- 募集人員 (ポスト・人数など)
准教授1名
- (1) 所属部門・所属講座, (2) 勤務地
(1) 物理学・宇宙物理学専攻 物理学第二分野 宇宙線研究室
(2) 京都市左京区北白川追分町
- 専門分野・職務内容・担当科目
X線天文学 (実験): 主に飛翔体を用いた高エネルギー天体の観測的研究を行うとともに, 学部・大学院での教育を担当する。
- (1) 着任時期, (2) 任期
(1) 採用決定後できるだけ早い時期
(2) 任期なし
- 応募資格
なし
- 提出書類
○履歴書 (顔写真, e-mail アドレス, 着任可能時期を明記) ○研究業績リスト ○主要論文別刷5編以内 ○研究業績概要 ○着任後の研究計画 (教育に対する抱負も含む) ○本人について意見を伺える方2名の氏名と連絡先
- 応募締切・受付期間
2021年10月18日(月)
- (1) 提出先, (2) 問合せ先
(1) 京都大学大学院理学研究科 物理・宇宙物理学系 学系長 田中耕一郎 電子メールにて apply@scphys.kyoto-u.ac.jp 宛に pdf (最大サイズ20 MB) を送付する。

- (2) 京都大学大学院理学研究科 物理学・宇宙物理学専攻 鶴剛
電話: 075-753-3868
e-mail: tsuru@cr.scphys.kyoto-u.ac.jp

10. 応募上の注意
必要と判断した場合, セミナーをお願いする場合があります。
11. その他 (待遇など)
http://www.scphys.kyoto-u.ac.jp/news/public.html#koubo_20210721_1 を参照のこと。

研究会・集会

第3回量子線イメージング研究会 @Online

- 名称: 第3回量子線イメージング研究会 @Online
主催: 量子線イメージング研究会実行委員会
○開催趣旨: 赤外線・X線・ガンマ線等の光子や, 電子, 中性子, 分子, イオンといった量子線を検出・解析する科学技術は, 素粒子・原子核物理学, 宇宙物理学, 物質科学から生命科学, 医学にいたる広い分野で重要な貢献を果たしてきました。近年, これらの領域のイメージング検出技術が著しく発展しています。また, 理学・工学や産官学の連携も進み, 新展開が生まれつつあります。ここに, 分野を横断して「量子線イメージング」を議論する場を設け, 科学技術の発展と新分野の創成を目指した研究会を開催します。
- 日 時: 2021年9月29日(水) 13時30分から10月1日17時(金)
- 場 所: オンライン開催
- 参加申込:

参加費：無料

事前登録制：締切 9月28日

ホームページ（参加申し込みを含む）

<https://soipix.jp/qbi2021.html>

○SOC: 常深博（大阪大学, Chair）, 初井宇記（理研）, 川人祥二（静岡大）, 中村哲（東北大）, 幅淳二（高エネルギー加速器研究機構）, 新井康夫（高エネルギー加速器研究機構）, 鶴 剛（京都大学）, 木股雅章（立命館大学）, 宮崎聡（国立天文台）, 高橋忠幸（Kavli IPMU, 東京大学）, 山谷泰賀（量子科学技術研究開発機構）, 須川成利（東北大学）, 片山晴善（JAXA）, 大久保雅隆（産総研）

○連絡先: Local Organizing Committee Chair: 新井康夫
(qbi2018@cr.scphys.kyoto-u.ac.jp)

賞の推薦

2021年度宇宙科学奨励賞公募のご案内

公益財団法人宇宙科学振興会では、宇宙科学分野で優れた研究業績を挙げ、将来の宇宙科学の発展に大きな役割を果たすことが期待される若い研究者を顕彰し、宇宙科学奨励賞を授与いたします。ここに2021年度の第14回宇宙科学奨励賞候補者のご推薦を募集いたします。推薦要綱の詳細は当財団のホームページ(<http://www.spss.or.jp>)に掲示しておりますが、当奨励賞の概要は以下の通りです。皆様の周りで優れた業績を挙げ将来の活躍が期待される若手研究者をご存知の際には、是非ともご推薦いただきますようお願い申し上げます。

表彰の趣旨: 宇宙理学（飛翔体を用いた観測、探査、実験に関連する理学研究）分野及び宇宙工学分野で独創的な研究を行い、宇宙科学の進展に寄与する優れた研究業績をあげた若手研究者個人を顕彰する。

授与機関: 公益財団法人 宇宙科学振興会

候補者: 上記分野で優れた業績をあげた当該年度の4月1日現在37歳以下の若手研究者個人。候補者の推薦は他薦に限る。

業績の審査: 業績の審査は、推薦理由となる研究業績に関連して発表された論文に基づいて、当財団が設置する選考委員会において行う。

賞の内容: 授賞は原則として毎年宇宙理学関係1名、宇宙工学関係1名とする（ただし適格者のいない場合は受賞者なしとする場合がある）。受賞者には本賞（賞状と表彰楯）および副賞（賞金30万円）が贈られる。

推薦締切日: 2021年10月31日(日) 必着。

表彰式: 選考結果は2022年1月に推薦者と受賞者に通知するとともに、当財団ホームページにおいて発表する。その後2022年3月初旬に表彰式を行い、受賞者には受賞対象となった研究に関する講演をして頂く。

なお、推薦の手続きの詳細については財団のホームページ(<http://www.spss.or.jp>)をご覧ください。推薦書式をダウンロードして必要事項を記載の上、(1)候補者の略歴、(2)論文リスト、および(3)推薦の対象となる論文の別刷等必要書類を添付の上、電子メールにてご提出下さい。

お問い合わせ先および推薦書送付先:

〒252-5210 神奈川県相模原市中央区由野台3-1-1

公益財団法人宇宙科学振興会 事務局

E-mail: admin@spss.or.jp

公益財団法人天文学振興財団 令和3年度天文学業績表彰応募

当財団は、社会における天文学の振興に寄与するため、天文学に関連する分野での顕著な業績に対して表彰をいたします。

令和3年7月1日

公益財団法人天文学振興財団 理事長 観山正見

1. 応募種目

[1] 古在由秀賞

(1) 選考基準（以下のいずれかに該当する者）

- (1) 広い意味で理論天文研究において顕著な業績をあげた研究者
- (2) 天文学の広報普及に貢献した者（アマチュアも含む）
- (3) 広い意味で重力波天文学の貢献に顕著な業績をあげた研究者
- (4) 国際的に天文学の推進（特にアジアの天文学）に貢献した者
- (5) 天文学の推進に関して管理運営等において優れた業績をあげた者

(2) 対象

・当該年度当初において45歳以下であること（個人または研究グループの代表者）。また、応募は推薦に依るものといたしますが、他薦・自薦の別は問いません。

[2] 吉田庄一郎記念・ニコン天文学業績賞

(1) 選考基準 以下のいずれかに該当する者

- ・新たな天体観測手法の研究・開発で顕著な業績をあげた者

- ・天体観測技術の研究または開発分野で顕著な業績をあげた者
- ・新たな天体観測手法・装置の研究・開発を通じて産業界の発展に顕著な寄与をなした者

(2) 対象

- ・当該年度当初において50歳以下であること（個人またはグループの代表者）。また、応募は推薦に依るものといたしますが、他薦・自薦の別は問いません。
- 2. 応募期限：両賞とも令和3年10月末日
- 3. 選考結果：両賞とも選考委員会で審査の上、結果ついて令和4年1月下旬に文書で通知します。
- 4. 申請方法：天文学振興財団ホームページ上にWordファイルとPDFファイルを掲載します。応募書類は、一つのPDFファイルにまとめて電子メールに添付し、応募期限までに以下のメールアドレス宛にお送りください。
shinsei@fpastron.jp
天文学振興財団より受理確認メールを返信いたします。
- 5. 問合せ先：公益財団法人天文学振興財団 事務局
〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1
国立天文台内
Tel: 0422-34-8801
Fax: 0422-34-4053
<http://www.fpastron.jp/>

2021年度日本天文学会林忠四郎賞受賞候補者および欧文研究報告論文賞受賞候補論文推薦のお願い

林忠四郎賞選考委員会

標記の二つの賞について、受賞候補者と論文の推薦をお願いします。締切は両賞とも2021年11月5日（金）（必着）です。以下に述べるそれぞれの要領に従って記入した推薦書を、〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 日本天文学会宛に郵送してください（論文賞についてはe-mailも可）。なお、封筒には「林忠四郎賞候補者推薦書」または「欧文研究報告論文賞候補推薦書」と表記してください。特に返送等のお申し出がない限り、推薦書類は選考後に破棄します。授賞式は、林忠四郎賞については春季年会時、欧文研究報告論文賞については秋季年会時の会員全体集會にて行う予定です。林忠四郎賞の推薦は2年間有効です。欧文研究報告論文賞の推薦は毎年リセットされます。「原則として1年に2件以内」と内規に定めがありますので、優れた論文であっても受賞に

至らない場合があります。その場合、優れた論文は複数回推薦していただくことを奨励します。

2021年度（第26回）林忠四郎賞推薦要領

この賞は、林忠四郎博士が1995年11月に第11回京都賞を授与されたのを記念し、「後進の天文学研究を奨励するため」として同博士より日本天文学会にいただいた寄付を基金にして設定されたものです。

対象：広い意味での天文学（天体物理学、宇宙物理学、他の関連テーマも含む）における独創的かつ分野に寄与するところの大きい研究業績に対して授与する。

受賞資格：本年度当初においてすでに本会正会員である者（個人または少人数の研究グループ）。

授賞件数：原則として1件。

賞状等：本賞として賞状、副賞として賞牌（メダル）および賞金（30万円）を授与する。

推薦書の形式：表題は「2021年度林忠四郎賞候補者推薦書」としてください。A4サイズ用の紙に、次の順序で横書きにしてください。

- 1) 候補者（被推薦者、連名授賞可）について：氏名（ふりがな）、生年月日、大学卒業年、現職および連絡先（電話、FAX、e-mail）
- 2) 授賞対象とする研究の表題（英語表記も併記）
- 3) 推薦者について：氏名（ふりがな）、現職、連絡先（電話、FAX、e-mail）、被推薦者との関係
- 4) 推薦理由の要旨（300字以内）
- 5) 推薦理由
- 6) 関連する論文のリスト
- 7) 添付資料として、推薦に関連して最も重要な論文のコピー（3編以内）

2021年度（第26回）欧文研究報告論文賞推薦要領

この賞は、日本天文学会欧文研究報告（Publications of the Astronomical Society of Japan (PASJ)）に出版された優れた論文を称賛し、今後も優れた論文が投稿・出版されることを奨励するために設定したものです。なお本賞の選考委員会は、林忠四郎賞選考委員会が兼ねています。

この度、内規改定により、本賞は論文を対象とした賞であることが明確化されました。よって、これまでの「被推薦者との関係」の記載は不要となり、論文の著者（共著者を含む）からの推薦も可能です。

対象論文：原則として2016年12月から本賞締め切りまでに発行されたPASJに掲載された論文の中で、独創的で天文学分野に寄与の大きい、特に優れた論文を

その対象とする。

授賞件数等：原則として2件以内。受賞論文の著者（共著の場合は、すべての共著者）に賞状を授与するとともに、受賞記念講演日より三年以内に投稿された論文一編について、その本文掲載料を無料にするとともに、フリーアクセスにて公開する。

推薦書の形式：表題は「2021年度欧文研究報告論文賞候補推薦書」としてください。A4サイズの用紙（e-mailでも可）に、次の順序で横書きにしてください。

候補論文について：論文題目、筆頭著者名、出版された巻、ページ、発行年推薦理由（1,000字程度）

推薦者について：氏名（ふりがな）、現職・連絡先（電話、Fax, e-mail）、

e-mailで推薦する場合はjimu@asj.or.jp宛に送信して、受領メールを必ず確認してください。

2021年度（第33回）研究奨励賞候補者推薦のお願い

研究奨励賞選考委員会

本会は、優れた研究成果を上げている若手天文学者に対して、日本天文学会研究奨励賞を授与しています。受賞資格は

- 1) 日本天文学会正会員で、最近おおよそ5年間（※以下参照）における天文学への寄与が顕著なる者
- 2) 当該年度初日（2021年4月1日）にすでに正会員であってかつ35歳以下の者。ただし、産休・育休等により天文分野での活動に空白期間があれば、その年月は考慮するが、原則40歳未満とする。

です。毎年3名以内を対象とし、賞状、賞牌（メダル）および賞金（10万円）を併せて授与しています。皆様からの多数の候補者の推薦をお待ちしております。選考委員会では推薦された方の中から、研究奨励賞内規に基づき選考を行い、候補者を代議員総会に推薦します。受賞候補者の推薦要領は

- (1) 締切：2021年11月8日（月）必着
- (2) 提出書類：○候補者氏名、会員番号、現職、生年月日、○授賞対象とする研究の表題（英語表記も）、○推薦者の氏名、現職、連絡先、○推薦理由（300文字程度の要旨とA4で2～3枚程度の本文、※最近おおよそ5年間の業績を基本とし、それを遡る数年間にも主業績に至る一連の萌芽的研究があれば積極的に記載して下さい）、○関連論文リスト、○推薦に関連して最も重要な論文のコピー（3編以内）
- (3) 提出先：できるだけ、e-mailで応募して下さい。

e-mailの場合はjimu@asj.or.jp宛にsubject「2021研究奨励賞応募 氏名」としてお送り下さい。また、提出書類は一つのPDFにまとめて、ファイル名を「2021kenkyu shorei full name」として下さい。郵送で提出する場合は

〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1

国立天文台内

日本天文学会研究奨励賞選考委員会

へ送付して下さい。

2021年度（第21回）天文功労賞候補者推薦のお願い

天体発見賞選考委員会

この賞は、研究機関外での天文活動、例えば長年に亘る天体観測や、突発的な現象の検出・通報などを、称賛し奨励するためのものです。賞の対象となる功績は、天体発見賞・発見功労賞の枠に取まらない天文観測・研究活動です。対象者は、日本在住者、日本国籍を有する個人、または日本に本拠地を置く団体であって、天文学研究を主たる業務としない者としします。日本天文学会の会員であるかどうかは問いません。選考は、天体発見賞選考委員会が行い、候補者を代議員総会に推薦します。

天文功労賞につきまして、日本天文学会の会員（正会員及び準会員）の方々から候補者（団体）の推薦を、広く募集します。A4紙1枚程度で、候補者（団体）名、功績題目（1行程度）、功績の説明を書いていただき、日本天文学会事務所（〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 Fax: 0422-31-5487・e-mail: jimu@asj.or.jp）までお送りください。郵便・Fax・電子メールのいずれでも結構です。推薦は随時受け付けておりますが、今回の選考に確実に乗せるには、2021年12月17日（金）までにお送りいただくようお願いいたします。なにとぞ多数のご推薦をよろしくお願いいたします。

なお、推薦された候補について、2021年度に受賞対象とならなかった場合でも、当選考委員会において候補リストに登録し、翌年以降の選考対象とします。このため、同一の推薦を翌年以降に重ねて行う必要はありません。ただし、推薦内容に変更がある場合は、再度の提出をお願い致します。

2021年度(第4回)天文教育普及賞 候補者推薦のお願い

天文教育普及賞選考委員会

日本天文学会天文教育普及賞は、天文教育や普及活動の分野で特に顕著な貢献をされた個人や団体を顕彰し奨励して、教育普及活動のさらなる発展を期するものです。対象者は、日本国内・国外またはその両方で活動を行った日本在住者や日本国籍を有する個人、または日本に本拠地を置く団体、及び、日本国内で行われた教育普及活動を実施した外国の個人または団体です。教育普及活動が本務の場合も、本来の業務を大きく超え、社会に強い影響を与え、多大な貢献をした場合は対象となります。また、日本天文学会の会員であるかどうかは問いません。選考は天文教育普及賞選考委員会が行い、候補者を代議員総会に推薦します。

つきましては、日本天文学会の正会員・準会員の方々から、候補者(団体)の推薦を広く募集します。A4紙1枚程度で、候補者(団体)名、活動名(1行程度)、活動内容の説明を記載し、必要に応じて補足資料(A4紙5枚程度まで)を添付のうえ、日本天文学会事務所(〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内/Fax: 0422-31-5487/jimu@asj.or.jp)にお送りください。フォーマットの指定は特にありません。郵便・Fax・電子メールのいずれでも結構です。

なお、連名で推薦される場合は全員が会員である必要はありません。推薦は随時受け付けておりますが、第4回の選考に確実に間に合わせるには、2021年9月30日(木)までにお送りいただくようお願いいたします。なお昨年度推薦いただいた候補者に関しては再推薦の必要はありません。

なにとぞ多数のご推薦をよろしくお願いいたします。

2021年度(第4回)日本天文遺産 候補推薦のお願い

日本天文遺産選考委員会

日本天文学会では、歴史的に貴重な天文学・暦学関連の遺産を大切に保存し、文化的遺産として次世代に伝え、その普及と活用を図ることをひとつの使命と考え、日本における天文学(以下、暦学も含む)的な視点で歴史的意義のある史跡・事物に対して日本天文遺産の認定を行っています。対象は原則として次のよう

なものになります。

- (1) 史跡・建造物: 天文学上、重要であった地点や建築・構造物、観測施設など。
- (2) 物品: 天文学上の重要な発見に関与する物品や天文学における歴史的意義が高い物品。観測機器や天文学研究に用いられた測定装置など。
- (3) 文献: 歴史的意義のある天文学関連の文書類など。

認定された日本天文遺産の管理者等には、認定証および認定されたことを示すパネルまたは楯を贈呈します。これにより対象物の歴史的価値を広く世の中にアピールし、その保全への支援となることを期待しています。皆様からの推薦を参考に天文遺産選考委員会が候補を絞り、日本天文学会代議員総会にて決定します。

日本天文学会の会員(正会員及び準会員)の方々からの候補の推薦を、広く募集します。推薦書は本誌巻末のものをご利用下さい。以下の日本天文学会のサイトからもダウンロードすることができます。

<https://www.asj.or.jp/jp/activities/prize/heritage/>

必要事項を記入の上、日本天文学会事務所(〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 Fax: 0422-31-5487・jimu@asj.or.jp)にお送りください。送付方法は郵便、Fax、電子メール添付のいずれでも結構です。現在の管理者・所有者に推薦した旨を連絡しておいていただくと助かります。

2021年度の認定対象の発表と認定証授与式は、2022年3月の日本天文学会春季年会会場にて行う予定です。推薦は、2021年9月30日までに学会事務所へ到着したものを有効とします。候補に対しては必要に応じて現地調査を行います。なお「歴史的」とは長い年月を経ているという意味ではなく、長く後世に伝えていくべき価値を有するものと考えていただければと思います。なにとぞ多数のご推薦をよろしくお願いいたします。

なお、推薦された史跡・事物については、2021年度に日本天文遺産として認定されなかった場合でも、選考委員会において日本天文遺産候補リストに登録し、翌年以降の選考対象とします。このため、同一の史跡・事物を、翌年以降に重ねて推薦する必要はありません。ただし、推薦書記載の内容に変更がある場合は、再度の提出をお願いいたします。

会 務 案 内

公益社団法人日本天文学会 2020 年度（2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日）事業および決算の報告

事業・決算報告書の電子版を日本天文学会ホームページ上 (<https://www.asj.or.jp/jp/>) で公開しておりますが、書面による配布を希望される方には別途郵送いたしますので、学会事務局までご連絡ください。

1. 2020 年度事業の報告

2020 年 9 月の秋季年会（弘前大学）及び 2021 年 3 月の春季年会（東京工業大学）は、新型コロナウイルス感染症対策のためオンライン開催となりました。また、助成金（早川基金、学術交流費）は、新型コロナウイルス感染症対策による渡航の自粛及び会議のオンライン化の影響を受け支給額は無しとなりました。それ以外の活動内容はおおむね例年通りでした。欧文研究報告、天文月報、年会予稿集、ジュニアセッション予稿集の刊行、「シリーズ現代の天文学」第 16 巻第 2 版の刊行、各種委員会活動、各賞の授与、後援事業に関する事業を行いました。詳しい事業報告は学会ホームページを参照して下さい。2021 年 3 月 31 日現在の会員数は以下の通りです。

	正会員 (内学生)	準会員	団体 会員	賛助 会員	合計
2020 年 3 月 31 日	2,172 (517)	1,093	39	42	3,346
入会	169 (149)	41	1	0	211

退会・除籍等 (うち除籍)	△ 187 (104) (△ 33 (0))	△ 95 (△ 11)	△ 2 (0)	0 (0)	△ 284 (△ 44)
移籍 (増)	17 (10)	12	—	—	29
移籍 (減)	△ 12 (1)	△ 17	—	—	△ 29
正会員へ (学生減)	△ (67)	—	—	—	—
2021 年 3 月 31 日	2,159 (504)	1,034	38	42	3,273

(注 1: 除籍とは会費未納による資格喪失を指す)

(注 2: 移籍とは正会員、準会員との間の移動のことを指す)

2. 2020 年度決算の報告

2020 年度の経常収益は前年度より 7,050,433 円減、経常費用は同 5,884,492 円減、学会の正味財産は 771,335 円減少し 133,565,796 円となりました。受取会費は 42,760,000 円でした。新型コロナウイルス感染症の影響で困窮する学生会員等の会費免除措置を行いました。一般の正会員の減額措置が前年度で終了したために 2,610,000 円の増収となりました。

欧文研究報告 (PASJ) 事業では、Oxford University Press への委託以来収支が改善し、本年度も収益が経費を上回りました。年会事業では、秋季および春季年会がオンライン開催となったため会場費等が掛からずやや黒字となりました。賛助会費と寄付で運営されている助成事業では、早川幸男基金に本年度も寄付をいただきました。賛助会費ともども支援に感謝します。事業別決算書内訳は以下のとおりです。

(文責 庶務理事: 町田真美, 会計理事: 酒向重行)

事業別決算書内訳表

2020 年 4 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日まで

公益社団法人 日本天文学会

(単位: 円)

科目	公益目的事業					
	一般事業					
	共通事業	欧文事業	月報事業	年会事業	その他の事業	小計
経常収益計	20,776,260	38,375,026	2,618,078	3,692,200	473,976	65,935,540
経常費用計	15,203,352	30,548,006	14,998,259	2,759,677	9,841,239	73,350,533
当期経常増減額	5,572,908	7,827,020	△ 12,380,181	932,523	△ 9,367,263	△ 7,414,993

科目	公益目的事業							公益目的事業計
	助成事業							
	学術交流費事業	国内研修支援金事業	研究奨励賞事業	早川基金事業	林賞事業	小計		
経常収益計	690,086	116,990	690,006	729	438,218	1,936,029	67,871,569	
経常費用計	407	116,990	3168	729	438,218	559,512	73,910,045	
当期経常増減額	689,679	0	686,838	0	0	1,376,517	△ 6,038,476	

科目	法人会計	内部取引消去	合計
経常収益計	20,881,734	0	88,753,303
経常費用計	18,068,737	0	91,978,782
当期経常増減額	2,812,997	0	△ 3,225,479

入会・移籍・退会のお知らせ

2021年5月12日に開催された公益社団法人 日本天文学会理事会において、正式に入会・移籍が承認された方、退会が報告された方の人数をお知らせします。

入会 正会員：52名 準会員：3名

退会 正会員：2名 準会員：1名

2020年度ご寄付者名

2020年度に日本天文学会へご寄付をいただいた方々です。深く感謝申し上げます。

(敬称略/受付順)

岡村定矩, 山本稔, 「海部さんに感謝する会」, 亀野誠二, 熊谷謙一, 佐藤明達, 橋目敏行

計 報

2010年1月～2011年12月に当学会の事務長を務められた宮下暁彦氏は2021年8月1日に逝去されました。75歳でした。ご冥福をお祈り申し上げます。

天文月報オンラインのIDとパスワード

ID: asj 2021

パスワード: 雑誌コード (5桁の数字) と **vol114** (6文字) の計11文字を入力してください。「雑誌コード」とは印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌○○○○○-▲」の○○○○○の部分です。○○○○○は各号共通の数字です。

江草実美 (委員長), 市川幸平, 岩井一正, 岩崎一成, 小高裕和, 小野寺仁人, 嘉数次人, 勝田哲,

川中宣太, 津村耕司, 西澤淳, 西塚直人, 秦和弘, 福井暁彦, 仏坂健太, 前原裕之

令和3年8月20日

発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

印刷発行 印刷所 〒162-0801 新宿区山吹町332-6

株式会社 国際文献社

定価733円 (本体667円) 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359 (事務所) / 0422-31-5488 (月報) Fax: 0422-31-5487 振替口座00160-1-13595

日本天文学会のウェブサイト <https://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: toukou@geppou.asj.or.jp

会費には天文月報購読料が含まれます。

©公益社団法人日本天文学会2021年 (本誌掲載記事は無断転載を禁じます)